

▼アジゾピ皮下注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】フレマネズマブ（遺伝子組換え） Fremanezumab（Genetical Recombination） 【分類】ヒト化抗CGRPモノクローナル抗体製剤

【単位】▼225mg/1.5mL シリンジ

【常用量】

■4週間に1回 225mg

■あるいは12週間に1回 675mg（3本）

投与間隔変更時は変更前の次回投与予定日に行う

2つの投与法の効果は同等

頭痛ダイアリーを適切につける

【用法】皮下注（上腕部、腹部、大腿部のいずれか）

効果判定は、4週に1回の場合は3か月、12週に1回の場合は6か月で評価

【透析患者への投与方法】

【保存期CKD患者への投与方法】

【特徴】片頭痛の原因と考えられているカルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）への抗体（αCGRPが片頭痛に関連）。

セロトニン低下によりCGRPが低下するのでトリプタンはCGRP放出を抑制、抗体はCGRPを捕捉して活性を失わせる。

投与方法にかかわらず投与1週目から効果を認めトリプタン使用回数も減る。

50%レスポnderが約50%であるという。

【主な副作用・毒性】注射部位反応、過敏症、中和抗体の生成など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】5～7hr（1）

【代謝】

【排泄】

【t1/2】30日程度（1）

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【効果発現時間】1か月後で頻度が有意に減少（1）

【備考】頭痛の診療ガイドライン参照のこと

【更新日】20220413

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。